

岡山県  
AMD A

# 支援チーム派遣

## 避難所巡回や情報収集

鳥取県中部の地震を受け、国際医療ボランティアAMD A（岡山市北区伊福町）と岡山県は24日、それぞれ支援チームを鳥取県に派遣した。被害の大きかつ

た倉吉市を中心に、避難所での医療支援などに当たる。AMD Aは25日までの日程で、調整員と看護師の計3人を第1陣として出発さ

せた。避難所に身を寄せる被災者のニーズを収集し今後の支援策を探る。調整員の大西彰さん（48）＝岡山市＝は「余震が相次ぐ中、ストレスによる体調不良が懸念される。高齢者や子どもといった災害弱者らの声に耳を傾けたい」と話した。

県は鳥取県の要請を踏ま

え、保健師ら6人でつくるチームを結成。現地の避難所の巡回と各戸訪問を行い、被災者の健康相談や衛生対策に当たる。被災した建物の危険性をチェックする「応急危険度判定士」についても倉敷、津山、新見の3市と合同で計10人を倉吉市などに派遣した。

（秋山昌三、松島健）